

日本産業衛生学会

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会(事務局)
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科
産業医学分野(環境衛生)内
TEL・FAX.06-6646-3160
発行責任者・車谷典男(地方会会長)
http://www5.ocn.ne.jp/~jsohkink/

第57回近畿地方会総会および特別講演・シンポジウムのご案内

日本産業衛生学会近畿地方会 会長 車谷典男

日本産業衛生学会近畿地方会総会を開催いたします。会員の多数の参加をお待ちしています。

日 時 平成21年6月6日(土) 13:00~17:00

会 場 大阪市立大学医学部学舎4階大会議室(※5頁)

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

●地下鉄御堂筋線・谷町線「天王寺」駅、JR「天王寺」駅、
近鉄南大阪線「あべの橋」駅より西へ徒歩10分

地方会総会 (13:00~13:50)

- (1) 平成20年度事業報告および平成20年度決算報告
(※2頁~4頁)
- (2) 平成21年度事業計画(案)および平成21年度予算(案)
(※2頁・5頁)
- (3) その他

特別講演・シンポジウム (14:00~17:00)

特別講演・シンポジウムの企画の意義

警察庁は平成20年の自殺者が32,249人であることを発表し(平成21年4月2日)、わが国の自殺者が11年連続で3万人を超えたことが判明した。金融危機で証券、銀行などが廃業や倒産に追い込まれた1998年以来、それまでの自殺者が21,000~25,000人だったレベルから約1万人増えて、その後11年連続続いていることになる。そして、この背景にはおそらく自殺者の何十倍かの「うつ」があると考えられている。職域においても、この「うつ」や「適応障害」などのメンタルヘルス不調者が今なお減らず、職域健康管理の重要なテーマとなって久しい。また、近年「新型うつ」ともいわれる従来型の「うつ」とは趣をこにたしたメンタルヘルス不調者も増えつつある。

今春に「心理的負荷に関する精神障害等の労災認定基準」並びに「職場復帰支援の手引き」の改定が行われた。今回の特別講演では、労災新認定基準の作成委員でありまた職域のメンタルヘルスの第一人者でおられる夏目先生に、「うつ」の変遷と新認定基準についてご講演いただく。また、その後のシンポジウムでは現場の産業医、産業看護職、メンタルヘルス専門家と弁護士を招き、メンタルヘルス不調者の対応と法的な問題について発表頂き最後に討論を予定している。参加者も含めた活発な討論がなされることを期待したい。(廣部一彦)

メインテーマ

「心理的負荷に関する精神障害等の労災認定基準」

改定を受けて

- これからの職域におけるメンタルヘルス不調者対策を考える -

特別講演

「昔のうつと今のうつ」

~現場での考え方と労災新認定基準について~

演者 夏目 誠(樟蔭女子大学)

座長 圓藤吟史(大阪市立大学大学院医学研究科)

シンポジウム

「メンタル不調者対応にかかわる諸問題」

~復職支援制度、復職判定、労災新認定基準と法的解釈~

座長 鮫島真理子

(パナソニック健保組合健康管理センター)

廣部一彦(みずほFG大阪健康開発センター)

シンポジスト

- 1) 専属産業医の立場より
橋口克頼
(パナソニック(株)本社R&D部門守口地区健康管理室)
- 2) 産業看護職の立場より
鈴木美恵子(栗田工業大阪医務室)
- 3) 精神科医の立場より
鍵本伸明(ナンバかきもとクリニック)
- 4) 弁護士の立場より
山田長伸(山田長伸法律事務所)

〈参加費〉

産衛学会員：無料

産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：3,000円

非産衛学会員：2,000円

非産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：5,000円

〈単位申請〉

1. 日医認定産業医単位取得
2. 産業看護職継続教育システムによる単位認定取得

日医認定産業医単位取得について

1. 日本医師会認定産業医制度産業医学研修
(基礎後期3単位もしくは生涯専門3単位)を申請中。
認定産業医単位取得希望者は、必ず下記要領にてお申込み下さい。受講票は別途ハガキで送付致します。
単位取得に関しては、100名の定員になり次第締切。

【申込み方法】

- ①6月6日(土)特別企画参加希望 ②氏名(ふりがな)
- ③連絡先住所・電話・FAX ④所属医師会
- ⑤日本産業衛生学会会員である事を明記
- ①~⑤を明記の上、日本産業衛生学会近畿地方会事務局宛にFAX(06-6646-3160)で申し込んで下さい。

【受付開始】5月18日(月)から

(受付時間9:00~17:00、但し土、日は通信不可)

平成20年度近畿地方会収支報告および平成21年度予算（案）

平成20年度近畿地方会収支報告および平成21年度予算（案）

1. 収入の部

平成20年3月1日から平成21年2月28日まで

科 目	20年度予算額	20年度決算額	21年度予算額
(1) 会費収入	2,000,000	2,200,000	2,000,000
正会員会費収入	1,700,000	1,756,000	1,700,000
特別会員会費収入	300,000	444,000	300,000
(2) 助成金収入	1,900,000	2,143,900	1,900,000
日本産業衛生学会助成金収入	1,900,000	1,930,500	1,900,000
日本産業衛生学会本部選挙交付金	0	213,400	0
(3) 事業収入	200,000	240,000	200,000
広告料収入	200,000	240,000	200,000
(4) その他収入	300,200	302,113	2,000
受取利息	200	2,113	2,000
役員選挙積立金より	300,000	300,000	0
当期収入合計	4,400,200	4,886,013	4,102,000
前期繰越収支差額	2,469,298	2,469,298	2,825,141
収入合計	6,869,498	7,355,311	6,927,141

2. 支出の部

科 目	20年度予算額	20年度決算額	21年度予算額
(1) 事業費	3,000,000	2,746,651	3,350,000
①機関誌費	1,450,000	1,151,270	1,450,000
印刷費	500,000	383,472	500,000
広報活動費	150,000	150,000	150,000
通信運搬費	800,000	617,798	800,000
②助成金支出	1,150,000	880,000	1,150,000
近畿産衛学会開催助成金支出	400,000	400,000	400,000
産業医部会助成金支出	100,000	100,000	100,000
産業看護部会助成金支出	100,000	100,000	100,000
産業技術部会助成金支出	100,000	100,000	100,000
研究会補助金	300,000	150,000	300,000
研修会補助金	150,000	30,000	150,000
③例会事業費	400,000	715,381	750,000
地方会総会開催費	150,000	465,381	500,000
学術担当費	250,000	250,000	250,000
(2) 管理費	1,850,000	1,757,619	1,650,000
①運営費	1,250,000	1,307,182	850,000
幹事、代議員会費	150,000	49,035	150,000
役員選挙費	600,000	565,147	0
IT関連、ホームページ維持管理費	500,000	693,000	700,000
②事務費	600,000	450,437	800,000
事務局費合計	400,000	400,000	400,000
備品	0	31,500	200,000
消耗品費	100,000	18,937	100,000
地方会事務局移転費用	100,000	0	100,000
(3) その他支出	0	0	300,000
役員改選積立金支出	0	0	300,000
(4) 予備費	500,000	25,900	500,000
予備費	500,000	25,900	500,000
当期支出合計	5,350,000	4,530,170	5,800,000
当期収支差額	-949,800	355,843	-1,698,000
次期繰越金	1,519,498	2,825,141	1,127,141
支出合計	6,869,498	7,355,311	6,927,141

財産目録 1.ノートパソコン・デル…1台 2.ノートパソコン・NEC98ノート…1台 3.エプソンレーザープリンター…1台

平成20年度日本産業衛生学会近畿地方会事業報告

1. 第56回近畿地方会総会および基調講演・シンポジウム

日時：平成20年5月24日（土）13：00～17：00

場所：大阪市大医学部学舎 4階大講義室

出席者：47名（委任状605名）

会員数 1,253名（5月24日現在）

〈特別講演〉

「メタボリックシンドロームの考え方と最新知見」

下村伊一郎

（大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学）

〈シンポジウム〉

「職場でのメタボリックシンドロームの把握と保健指導」

シンポジスト：

1. 「職域でのメタボリックシンドローム対策」

高田康光（松下電器産業（株）

ホームアプライアンス社奈良健康管理室）

2. 「メタボリックシンドロームの

概念を取り入れた健診と保健指導」

－定期健診時の腹囲・内臓脂肪測定と活動量計の活用－

平田真以子（みずほFG大阪健康開発センター）

3. 「行動療法を基盤にした保健指導の進め方」

中川 徹（日立健康管理センター）

4. 「身体活動の効果とその評価」

内藤義彦（武庫川女子大学生生活環境学部）

〈参加者数 198名（学会員 50名）〉

2. 第48回近畿産業衛生学会

日時：平成20年11月22日（土）10：00～17：30

場所：大阪大学医学部同窓会館 銀杏会館

学会長：森本兼義（大阪大学大学院医学系研究科教授）

〈特別講演〉

ストレスの理解：ストレス関連疾患と遺伝子発現

演 者：六反一仁（徳島大学）

〈シンポジウム〉

安寧の労働を求めて：ストレスコミュニケーション

1) 環境リスクコミュニケーション

小泉昭夫（京都大学）

2) 上司・同僚のサポートとストレス反応変容

夏目 誠（大阪樟蔭女子大学）

3) 労働格差の意味するもの

堤 明純（産業医科大学）

4) 森林自然交流と働く意欲

茂原 治（（財）和歌山健康センター）

5) 職場のストレスのケアとケア

鈴木純子（日本アイビーエム）

〈参加者数 229名（学会員 134名）〉

3. 代議員会

第1回 平成20年5月24日（土）大阪市大医学部学舎

第2回 平成20年11月22日（土）大阪大学医学部同窓会館

4. 幹事会

第1回 平成20年5月24日（土）大阪市大医学部学舎

第2回 平成20年8月25日（月）大阪市大医学部学舎

第3回 平成20年11月22日（土）大阪大学同窓会館銀杏館

第4回 平成21年2月28日（金）大阪市大医学部学舎

5. 近畿地方会ニュース

年4回発行（74号～77号）

6. 近畿産業医協会

(1) 第13回近畿産業医協会研修会

日時：平成21年10月4日（土）

会場：大阪市大医学部学舎 4階大講義室

基調講演：

「新型インフルエンザの脅威と経鼻ワクチン開発

－産業・社会崩壊を防ぐために－

長谷川秀樹

（国立感染症研究所感染病理部第2室 室長）

シンポジウム：

「新型インフルエンザのパンデミックに備えて

－事業所における対策－

木村正儀（住友商事本社診療所）

全 羽

（パナソニック健保組合健康管理センター）

長田芳成

（関西電力（株）人材活性化室安全衛生グループ）

川村尚久（大阪労災病院小児科）

〈参加者数 188名（学会員 41名）〉

(2) ケースカンファレンス研修会（共催）

〈産業医職場診断〉 5回実施

大阪産業保健推進センター 計22名

〈職場巡視〉 5回実施

大阪産業保健推進センター 計108名

〈メンタルヘルス〉 5回実施

大阪産業保健推進センター 計126名

7. 近畿産業看護部会

1) 第1回研修会

日時：平成20年7月5日（土）13：30～16：00

会場：大阪産業保健推進センター

テーマ：「保健指導の実践」

講師：荒木田美香子（国際医療福祉大学）

（参加者数 54名）

2) 第2回研修会

日時：平成20年9月6日（土）13：30～16：00

会場：大阪産業保健推進センター

テーマ：「作業環境管理の実践

－産業看護職として必要な知識－

講師：埴田和史（滋賀医科大学予防医学講座）

（参加者数 46名）

3) 第3回研修会

日時：平成20年10月4日（土）13：30～16：00

会場：薬業年金会館

テーマ：「保健指導の実施と評価について」

講師：荒木田美香子（国際医療福祉大学）

（参加者数 98名）

4) 第4回研修会

日時：平成21年1月24日（土）13：30～16：00

会場：中央災害防止協会

テーマ：「事務所則に基づく作業環境管理とリスク

アセスメントの導入～実習・産業看護職

として必要な環境測定と結果の見方～」

講師：河合俊夫

（中災防大阪労働衛生総合センター）

テーマ：「作業場でのリスクアセスメントと

危険余地活動の実践」

講師：阿部研二（中災防大阪労働衛生総合センター）

（参加者数 54名）

- 5) 特別研修会
日 時：平成20年12月9日(火) 14:00~16:00
会 場：大阪産業保健推進センター
テーマ：「新型インフルエンザの最新情報」
講 師：橋本 博(大阪産業保健推進センター)
(参加者数 59名)

- 6) 広報誌「架けはし」発行
第7号：平成20年9月 発行
7) 幹事会 計 6回開催

8. 近畿産業衛生技術部会

- (1) 産業衛生技術部会総会・研究会
日 時：平成21年2月28日(土) 12:00~16:00
場 所：ユーズ・ツウ G室
講演Ⅰ：環境・生体中の有害物質の測定技術
-ホルムアルデヒド、酢酸メトキシブチル、
ジメチルスルホキシド等-
竹内靖人(大阪労働衛生総合センター)
講演Ⅱ：日本のナノ製品と先端技術
-事業所が期待する労働衛生管理対策の提案-
羽場方紀(ダイヤライトジャパン(株))
(参加者数11名)

9. 産業医学実践講座

- (1) 第31回講習会
日 時：平成20年3月8日(土) 14:00~17:00
場 所：大阪医科大学附属看護専門学校大講堂
講演Ⅰ：「業務上疾病における物理的要因」
宮下和久(和歌山県立医大衛生学教室)
講演Ⅱ：「女性の就労問題について」
西尾久英(神戸大学大学院公衆衛生学教室)
(参加者数 58名(学会員 9名))
- (2) 第32回講習会
日 時：平成20年6月14日(土) 14:00~17:00
場 所：大阪医科大学新講義実習棟1階
講演Ⅰ：「作業管理について」
益江 毅
(三洋電機(株)大東産業保健センター)
講演Ⅱ：「職業性ストレスとアルコール関連障害」
井上幸紀(大阪市大大学院神経精神医学)
(参加者数 74名(学会員 11名))
- (3) 第33回講習会
日 時：平成20年12月13日(土) 14:00~17:00
場 所：大阪医科大学新講義実習棟1階
講演Ⅰ：「化学物質取り扱い業務による
健康障害の予防および対策」
土手友太郎
(大阪医科大学衛生学・公衆衛生学Ⅱ)
講演Ⅱ：「生活習慣病と産業保健-特定健診・
保健指導の意義と期待されるもの-」
日高秀樹(三洋電機連合健康保険組合
保健医療センター)
(参加者数 46名(学会員 8名))

10. 研究会活動

- (1) 産業精神衛生研究会
1) 平成20年7月7日(月)(エル大阪 参加者65名)
2) 平成20年10月27日(月)(エル大阪 参加者85名)
(2) じん肺研究会
平成20年8月27日(水)
(近畿中央胸部疾患センター 参加者数53名)

- (3) 第7回近畿臨床産業医学フォーラム
(万有製薬と共催)
平成21年2月4日(水)
(ホテルモントレ大阪 参加者数136名)
(4) 第42回中小企業安全衛生研究会全国集会
平成20年12月20日(土)(エル大阪 参加者数45名)

第49回近畿産業衛生学会のご案内 (第1報)

神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座
西尾久英

今年11月14日に神戸で開催される第49回近畿産業衛生学会のご案内(第1報)をお届けします。

今回の学会では、特別講演として「小規模事業所の産業保健の現状と展望」、シンポジウムとして「新型インフルエンザ対策」を計画しています。小規模事業所における過重労働問題は、多くの場合、労働者の収入確保の問題と直結しているため、健康を気遣う産業医、産業看護師の助言もなかなか受け入れてもらえないという現実があります。また、新型インフルエンザ・パンデミック到来は近いとされながらも、「すでに十分な対策ができていく」という話は聞いた事はありません。そこで、今回の学会では、この2つのトピックについて、皆様と一緒に勉強することを企図しました。11月の勉強計画の中に、是非、この学会を入れてくださいますよう、お願い申し上げます。詳細は次号でお知らせします。

日 時：平成21年11月14日(土)
会 場：兵庫県医師会館
神戸市中央区磯上通6丁目1番11号
(JR三宮駅から徒歩8分)
単位認定：
日本医師会産業認定医制度3単位
(特別講演+シンポジウムに出席した場合)
産業看護職継続教育3単位
(特別講演+シンポジウムに出席した場合)

FRUITS SOY BAR

SOYJOYバナナCaプラス新発売!

大豆の栄養をおいしく手軽摂れるSOYJOYから、
「カルシウム」をさらに強化した新アイテムの登場です。



メーカー希望小売価格(税別)
115円

- 「カルシウム」210mg を含んだ栄養機能食品(カルシウム)です。
- 大豆粉の生地に完熟した甘い香りのバナナをくわえて焼き上げました。
- 「低GI食品」です。
- 「間食」や残業時の「つなぎ食」としてもオススメです!

Otsuka

大塚製薬株式会社大阪支店
〒530-0005 大阪市北区中之島6-20-40
TEL: 06-6441-6532

平成21年度近畿地方会事業計画 (案)

1. 第57回近畿地方会総会および基調講演・シンポジウム

日 時：平成21年6月6日(土) 13:00~17:00
場 所：大阪市大医学部学舎 4階大講義室

2. 第49回近畿産業衛生学会

日 時：平成21年11月14日(土)
場 所：神戸大学医学部
学会長：西尾久英(神戸大学医学系研究科教授)

3. 代議員会

第1回 平成21年6月6日(土) 大阪市大医学部学舎
第2回 平成21年11月14日(土) 神戸大学医学部

4. 幹事会

第1回 平成21年6月6日(土) 大阪市大医学部学舎
第2回 平成21年8月予定
第3回 平成21年11月14日(土) 神戸大学医学部
第4回 平成22年2月予定

5. 近畿地方会ニュース

4回発行(78号~81号)

6. 近畿産業医部会

- (1) 第14回近畿産業医部会研修会(11頁)
日 時：平成21年6月13日(土) 14:00~17:00
会 場：大阪市大医学部学舎 4階大講義室
テーマ：「嘱託産業医の生涯教育システムを考える」
- (2) ケースカンファレンス研修会(共催)
日 時：調整中
場所：大阪産業保健推進センター
テーマ：1)「産業医職場診断」5回
2)「職場巡視」5回
3)「メンタルヘルス」5回

7. 近畿産業看護部会

- (1) 平成21年度産業看護部会研修会
1) 第1回研修会
日 時：平成21年7月11日(土) 13:30~16:00
会 場：薬業年金会館 4階研修室
テーマ：職場を元気にする健康支援
~ポピュレーションアプローチの実践例~
講 師：検討中
- 2) 第2回研修会
日 時：平成21年10月31日(土) 13:30~16:00
会 場：薬業年金会館 4階研修室
テーマ：専門職としての文章の書き方、
論文の書き方
講 師：検討中

- (2) 幹事会
年5回程度

8. 近畿産業衛生技術部会

- (1) 産業衛生技術部会総会・研究会
調整中
(2) 他の研究会との連合による講習会
調整中

9. 産業医学実践講座

未定

10. 研究会活動

- (1) 産業精神衛生研究会
3回実施予定
会 場：大阪府立労働センター
テーマ：職場のメンタルヘルス

(2) 職業性筋骨格系障害研究会

- 1) 日 時：平成21年3月7日(土) 13:00~17:00
会 場：キャンパスプラザ京都 2階第一会議室
テーマ：1. 介護労働に関する内外の研究について
埜田和史(滋賀医科大学)
2. 産業人間工学(Work Design)の
本の翻訳について
宇土 博(広島文京女子大学)

- 2) 日 時：平成21年12月
場 所：京都開催予定

(3) じん肺研究会

1回実施予定(詳細は調整中)

(4) 労働衛生法制度研究会

当分休会

(5) 第8回近畿臨床産業医学フォーラム(万有製薬共催)

日 時：平成22年2月4日(水) 18:30~20:30
場 所：調整中
テーマ：調整中
コーディネータ：浦野澄郎
(パナソニック健康管理センター)

11. 協賛事業

- (1) 海外勤務者健康管理研修会
(共催：(社)大阪府医師会、大阪産業保健推進センター)
検討中

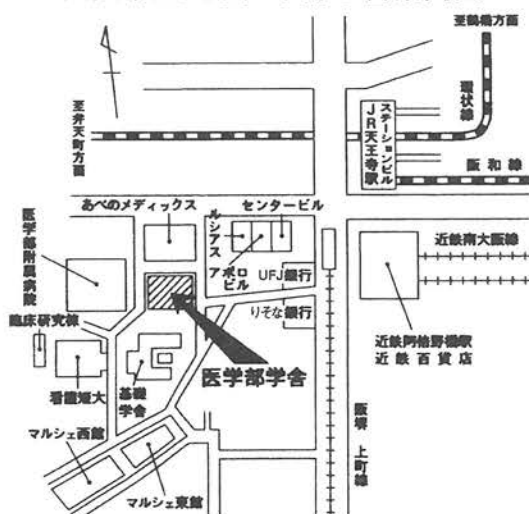
代議員の皆様へ

地方会総会の前に代議員会を開催いたします。代議員の方はご出席下さい。

時 間：12:20~12:50

場 所：大阪市立大学医学部学舎4階 小会議室

◎本ニュースに同封の「総会および代議員会出欠確認」用のハガキを5月29日(金)必着でご返送下さい。
昼食の準備はしておりませんので、予め済ませてご来場下さい。

地方会総会会場
大阪市立大学医学部学舎案内図

会員の声

子育てから得たもの



パナソニック(株)
ホームアプライアンス社
奈良健康管理室

永田 秀敏

昨年5月に勤務先の事業所が拠点再編のため閉鎖となり、現在の職場に異動となった。大学の6年間および新潟の事業所に勤務した1年間の計7年間を除くと33年間大阪で暮らしたことになる。

1 昨年の10月に娘が生まれ、それまで住環境に無頓着であった私も親バカからか、いろいろ考えて今回の異動を機に転居を決心した。転居をしたといっても昼間は職場で、もともと住環境にこだわりのないためそろそろ1年が経とうとしているもののあまり実感はない。しかし家内がたいそう喜んでくれている様子を見ると転居をしてよかったのだと感じている。

子育てはもっぱら家内に任せきりで、帰宅から娘が寝るまでのわずかな時間だけ子育ての真似事をしてはいるが、それでもつくづく大変だと感じている。それ

だけに1日娘の相手をしている家内には本当に頭の下がる思いである。毎日見ているにもかかわらず娘の成長を感じられるということはその成長のスピードが如何に速いものであるのかが想像できる。成長しているのはなにも娘ばかりではないようで、スピードの違いはあるものの私自身も変わってきたと家内だけでなく周りからも言われる。私自身は子育てで苦労することによって親や周囲の方々への感謝の思いは強くなってきたように感じている。つい最近まで生意気な口をきいていた自分が恥ずかしくなることもある。

子育てすることで過去の自分を見つめなおす機会が持て、それが仕事にも活かされてきているように思う。若い頃は健診の結果説明や保健指導後に後味の悪い思いをしたことも多かったが、(社員の方の気持ちはどうか分からないが)最近はそのような気分になることもほとんどない。これもこれまで接した方々から受けたいろいろな教えの賜物であろう。新潟の事業所にいた頃に工場長から「社員を理解するためにまずこの土地の地理や歴史などを勉強した。」と聞いたことがある。大阪の隣の県であるものの奈良についての知識は少なく、少しでも社員の方に近づくために勉強中である。まだまだ社員の方々と距離は近づいてはいないが、少しずつでも近づいていく努力を続けることで信頼を得てそして健康改善につながればと思っている。

産業看護との出会い



奈良交通(株)
人事部・健康管理室

東元 京子

私の産業看護との出会いは、平成元年に百貨店の健康相談室に就職したことから始まります。当時はお客様の店内事故や従業員の体調不良に対する応急処置が主な業務でした。700人余りの従業員の平均年齢は20歳代前半でしたから、健康診断の有所見率は低く、健康指導、健康管理などは求められていませんでした。と、言うよりも「余計なことはしないで欲しい」という指示でした。そんな健康管理室で10年余りを過ごした私は、「産業看護ってなんと楽な仕事だ」という認識で、向上心もなく、給料泥棒状態に甘んじていました。が、平成14年に家庭の事情で奈良県に転居することになり退職、奈良交通という公共輸送機関に勤めることとなりました。ここでは、前職のような甘い考えは通用しませんでした。健康管理の対象人数も3倍になり、従業員平均年齢は40歳代後半、有所見率は運輸業界の平均を上

回ります。このうちバス運転手1200余名は、不規則な生活と精神的ストレスにさらされながら安全輸送という使命を担っていかなくてはなりません。このため、定期健康診断はもとより、睡眠時無呼吸症候群、メンタルヘルスケアなども考慮した心身両面への健康管理が求められていましたが、当時の私は、産業看護の知識はないに等しい状態。そんな私が、彼らに受け入れてもらうにはどうすればいいのか全くわからず、途方にくれていた時に、一人の運転手から睡眠衛生について相談がありました。そこで、多くの運転手が睡眠についての悩みを持っている事を知り、睡眠衛生についての支援に取り組むことにしました。徐々に眠りが得られるようになった運転手から受け入れてもらえるようになり、雑談を通して健康診断の結果や、生活習慣病に対する疑問、家族の健康状態についてなど、質問、相談をしてくれるようになりました。とてもうれしかったことを覚えています。今思うと、これが私にとっての最初の産業看護に従事していると言えた時間だったと思います。現在、職場にも慣れ、時々横柄な自分に気がつきます。自分自身を律しながら、産業医と連携を取りつつ、安全輸送に貢献できるような健康管理を目指して行きたいと考えています。

会員の声

産業衛生技術部会に 望む事



大阪市立大学大学院産業医学
大阪産業保健推進センター

清田 郁子

平成11年に東京で開催された産業衛生学会ではじめて産業衛生技術部会準備委員会主催の集まりに参加し、その時に会場で会員登録をしました。産業衛生技術部会は、平成13年4月に正式に産業医部会、産業看護部会について学会本部の第3の部会として正式に承認され、活動が開始されています。そして各地方会の産業衛生技術部会も活動を開始したわけですが、近畿地方会は私が産業衛生学会に入会した昭和48年にはすでに産業衛生技術研究会として阪大、関西医大、市大、府公衛研、近畿安全サービスセンター（現 大阪労働衛生総合センター）が協力して種々の問題に取り組み、活発に活動されていました。私も先輩に誘ってもらって研究会に参加していました。私が特に記憶しているのは、コプロポルフィリンや尿中デルタアミノレブリン酸の定量方法など誰が測定を

行っても誤差の範囲内で値が得られるよう分析技術の研鑽が重ねられていた事です。今から思えば労働衛生における技術的役割の本質的な活動であり、産業衛生学会の中枢をなすものであったと考えます。労働衛生から産業保健へとネーミングの変遷に伴って学会の研究分野にも大きな変化が起こり、36年前は学会場では産業中毒に関する会場は人が溢れ、鉛中毒、有機溶剤中毒に関する研究発表が延々と続いておりました。それがこの10年程で全く様変わりをして、重金属、有機溶剤中毒に関する発表は閑古鳥が鳴く状態になってしまいました。これは決して重金属中毒や有機溶剤中毒が過去の問題になってしまった結果ではなく、大学での有害職場におけるフィールドワークが減少し、この分野の研究が急速に衰退していった事があるのではないかと思います。しかし、産業中毒は厳然と存在し、プロパンガスが充満する如く、静かに低く私たちの身の回りで様々な問題を惹起しています。分析技術は一朝一夕に向上も確立も出来ませんので、近畿産業衛生技術部会はかつて先輩達がやっていたように地道に分析技術の研鑽ができるよう、関西流のアットホームな人のつながりを大事にして輪を広げ、近年大気中のスモッグ問題が再燃してきたように、産業中毒に対する新たな問題が生じた時に直ぐに対応できるような部会であってほしいと希望しています。

日本産業精神保健学会

大阪市立大学大学院医学研究科
神経精神医学

井上 幸紀

日本産業精神保健学会は、職場におけるメンタルヘルスに関係した様々な職種スタッフ、専門家、研究者が一堂に会して意見交換を行い、協力して働く者のメンタルヘルスの保持増進を図ることを目的とした学会です。近畿でもこの学会に興味を持たれる方は非常に多く、平成15年に夏目誠会長（大阪樟蔭女子大学）のもと学会総会を開催した時には過去最多の参加者を集めました。このような経緯から、大阪市立大学・池田信夫会長（神経精神医学）のもと、平成20年6月6日7日の2日にわたり再び大阪で第15回日本産業精神保健学会を開催する機会が与えられました。学会イメージを持っていただくために概略を記載しますと、メインテーマは「働く女性のメンタルヘルス」であり、あらゆる分野での活躍がめざましい女性に焦点が当てられました。会長講演「働く女性の摂食障害」、パネルディスカッション「働く女性が抱える職場のストレス」、シンポジウムⅠ「ワークライフバランスを实践する」、教育講演Ⅱ「職場におけるハラスメント（パワー・セクシャ

ル等）をめぐる法的諸問題」などの関連企画講演に加え、職域で問題となっている様々な問題の中から、シンポジウムⅡ「労働者の自殺対策」、教育講演Ⅰ「発達障害の職業リハビリテーション」などの講演が行われました。一般演題の申し込みは41題を越え、内容は多彩なものでした。発表規定時間や質疑応答時間を超えてまで熱心に発表する演者も見られ、座長が心ならずも進行を早める一幕も見られました。今回の学会では500人以上の登録、800人以上の延べ参加者をいただき、お陰さまで学会は盛会のうちに無事幕を閉じました。この学会の企画から実施において、多くの産業衛生学会近畿地方会会員諸氏のご協力を得ました。半年以上経ってからで恐縮ですが、この場をお借りして心より御礼申し上げます。今後も産業衛生活動の一環として産業精神保健活動を行っていきたく思っております。少しでも多くの皆様がこの分野に興味を持っていただき、ご参加ご協力をいただければ幸いです。

地方会研究会活動報告

職業関連性筋骨格系疾患研究会例会報告

滋賀医科大学社会学講座衛生学部門 北原照代
近畿地方会職業関連性筋骨格系疾患研究会例会・第2
回作業関連性運動器障害研究会開催
日 時：2009年3月7日(土) 13:00~17:00
会 場：キャンパスプラザ京都にて開催した
(参加者約30名)。

1) 介護労働者の腰痛予防に関して

(話題提供者：埤田和史世話人)

まず、埤田世話人が話題提供の趣旨を説明し、介護労働者の筋骨格系障害に関する国内外の研究動向について北原が報告した。介護労働者の腰痛予防に関しては、2007年以降、厚生労働省から指針や通知が相次いで発表されており、海外では、腰痛予防対策として人力による抱きかかえ介護を無くすことが主流となりつつあることを述べた。続いて、「介護労働者設備等整備モデル奨励金事業」(2009年2月厚生労働省発表)について、岩切一幸氏(安全衛生総合研究所)が概説した。同事業は、介護労働者の作業負担軽減や腰痛対策を目的に介護事業所等での介護福祉機器の導入・運用を促すもので、本研究会として奨励金を申請したい事業所に役立つマニュアル等を作成することが了承された。続いて、オーストラリアで看護師として働きながら労働衛生マネジメントを学んだ保田淳子氏が、ノーリフティングポリシー(人力のみによって患者さんを移乗することを禁止した指針)について紹介し、実施内容を具体的に説明した。その後、活発に質疑応答が行われたが、ほんの10年前まで腰痛が深刻だったオーストラリア看護現場での取り組みに学ぶべき点が多かった。

2) 作業関連性運動器障害の危険要因

(話題提供者：三橋徹世話人、榎原 毅(名古屋工大))

三橋世話人は、整形外科の腰痛専門医の著書に人間工学の有効性を疑問視する記述が見受けられるなど、わが国では人間工学と環境衛生の原則が広く認知されていないことを指摘した。その上で、本研究会の戦略的テーマとして、①WMSDs予防に関するエビデンスの収集およびデータベース化、②産業衛生学会の良好実践事例視覚教材や人間工学会の人間工学グッドプラクティスデータベースと連携して実践的問題解決に貢献、③本研究会、日本人間工学会、産業保健人間工学会合同シンポジウムの企画、という積極的な提案を行った。こうした提案は本研究会の活動活性化に繋がるものと期待される。

3) 産業人間工学(Work Design)の翻訳

(話題提供者：宇土博世話人)

実践的な人間工学の教科書である“Work Design(Konz著)”の翻訳について具体的な計画が説明され、世話人を中心に編集委員会を組織してあたることとなった。



産業衛生技術部会からのお知らせ

技術部会代表 河合俊夫

2009年2月28日技術部会総会と研究会を大阪駅前 貸し会議室 ユーズ・ツウで開催し10名が参加し、活発な討論が行われた。総会では3008年度の会計報告と2009年度の計画案が報告された。研究会では新しい生体物質の測定技術(竹内先生)と日本の先端技術であるナノ物質について(羽場先生)報告された。特にナノ製品では4月から手で持ち運びできるX-ray装置が発売されること。水銀のいらぬ蛍光灯がすでに商品化されていることなどが説明された。



産業看護部会からのお知らせ

平成21年度 第1回定例研修会

日 時：平成21年7月11日(土) 13:30~16:00

テ ー マ：職場を元気にする健康支援
～ポピュレーションアプローチの実践例～

事例提供：石山珠江保健師

(元キャノンマーケティングジャパン(株))

堤 梨恵保健師(三井化学(株))

講 師：廣部一彦先生

(みずほFG大阪健康開発センター所長)

会 場：葉業年金会館4F研修室

(大阪市営地下鉄谷町線「谷町6丁目」下車
C階段④番出口直結)

参加費：無料

共 催：大阪産業保健推進センター

*単位認定申請中

*従来近畿産業看護部会研修会は、大阪産業保健推進センター研修室で開催していましたが、今般同センター移転のため会場が変更になっています。

*今後の予定は、近畿産業看護部会ホームページにて順次お知らせします。

会費納入のお知らせ

平成21年度近畿地方会費は2,000円です。
同封の振り込み用紙で払い込んで下さい。

口座番号：00980-6-120808

加入者名：日本産業衛生学会近畿地方会

振込人は、日本産業衛生学会員に限りますので、必ず会員名をご記入下さい。領収書は発行しませんので、振込用紙の控えを領収書に替えさせていただきます。総会当日は、地方会費の納入を受け付けます。

産業医部会からのお知らせ

第14回 近畿産業医部会研修会『産業医の生涯教育システムを考える』のご案内

実行委員長 森口次郎

平成21年6月13日(土曜日)午後2時～5時に大阪市立大学 医学部学舎 4階大講義室(55頁)にて開催する第14回 近畿産業医部会研修会をご案内いたします。

本研修会は、『産業医の生涯教育システムを考える』と題し、産業医・産業看護職の生涯研修について検討する機会を持つことを目的とします。

労働安全衛生法で産業医に「一定の要件」が求められてから10年以上が経過し、産業医は企業の産業保健に貢献していますが、諸外国と比較して日本の産業医の資格要件、生涯研修は十分ではないとの指摘もあり、メンタルヘルス不調、過重労働による健康障害などへの対応を中心に、産業医の責任や業務が増加している一方で、担当する嘱託産業医からは業務に不安を感じているとの意見も聞かれます。産業医・産業看護職に求められる要件を検討し、よりよい活動を行うために習得すべきことを再考すべき時期が来ていると考えられます。

本研修では、はじめに諸外国の産業医教育システムに造詣が深く、産業衛生学会専門医制度担当理事を務めておられる産業医科大学産業生態科学研究所 所長 東敏昭先生から、世界および日本の産業医生涯教育制度のご紹介と日本の制度への提言などの基調講演を頂戴します。

シンポジウム『産業医および産業保健専門職の生涯教育システムを考える』では、近畿産業医部会 山田誠二先生から大阪産業保健推進センターでのケーススタディなどの取り組みの紹介、高山内科医院 高山茂先生からこれまでの経験や自身の修練に基づく産業医教育への提言、京都南地域産業保健センター 平林裕先生から地域センターコーディネーターからの産業医教育への提言、株式会社堀場製作所総務部 山下泰生先生から企業の立場からの産業医教育への考えや要望、大阪産業保健推進センター 大脇多美代先生から産業看護職の教育制度の現状紹介と提言などについて、それぞれ講演頂いた後、全体で討議を行い、産業医・産業看護職の生涯研修の課題や提言を検討したいと考えております。

本研修は、日本医師会認定産業医制度 基礎研修および生涯研修に申請中です。産業医もしくは産業医を目指す先生方をはじめ、産業看護職の方、人事・労務・産業保健実務担当の方など多数のご参加をお待ちしております。

〈参加申し込み先、申し込み方法〉

第14回 近畿産業医部会研修会実行委員会事務局

(実行委員長 森口次郎)

財団法人京都工場保健会 産業保健推進部

(壬生保健センター)

〒604-8871 京都市中京区壬生朱雀町4-1

ノアーズアーク京都朱雀2F

FAX 075-803-6555

受付締切 平成21年5月31日(日曜日)

『第14回近畿産業医部会研修会』参加希望と明記の上、①氏名 ②勤務先名(職種) ③連絡先FAXもしくは電話番号 を楷書で記載し、FAXまたは官製はがきで実行委員会事務局までお申し込みください。

定員超過のため参加して頂けない場合にのみ連絡します(受講票の発送はいたしません)。

会員の異動(敬称略)

〈新入会員〉

栗山長門 (京都府立医大神経内科)
吉岡和恵 (ジェイテクト健保組合)
早川裕加 (クオリカプス(株))
柳本裕子 (大阪鉄道病院保健管理部)
中山泰徳 (中山内科)
小浜悦子 (東洋ゴム工業(株)兵庫事業所)
高原龍二 ((社)国際経済労働研究所)
山本由佳 (京都大学原子炉実験所保健管理センター)
坂根直樹 (京都医療センター臨床研究センター)
有田幹雄 (和歌山県立医大保健看護学部)
今井照彦 (済生会奈良病院内科)
高嶋哲也 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)
鍵本伸明 (医) 伸明会ナンバかぎもとクリニック)
宮田愛弓 ((株)クボタ本社人事部健康管理室)
山崎真喜子 (電気硝子ビジネスサポート(株))
辻本土郎 (医) 東布施辻本クリニック)
下田真梨子 (パナソニック(株)AVC社南門真健康管理室)
小倉弥生 (神戸市看護大学)
猪阪善隆 (塩野義製薬(株)製造本部摂津工場)
下村伊一郎 (大阪大学大学院医学研究科)
白川真紀子 ((株)ルネサステクノロジ北伊丹事業所)
寺澤一人 (三菱電機(株)関西支社)
細見由佳 (医) 蒼龍会井上病院)
出原久美 (近畿健康管理センター滋賀事業部)

〈再入会〉

南出良子 (近畿大学医学部公衆衛生学)
静間良子 (和歌山県立医大)
伊木雅之 (京都工場保健会)
古澤俊一 (大阪社会医学研究所)
西垣悦代 ((株)ダイエー江坂事務所保健管理センター)
同道正行 (京都工場保健会)
山田親久 (大阪社会医学研究所)
重田博正 ((株)ダイエー江坂事務所保健管理センター)
梶谷朋代 (京都工場保健会)
稲田美美
安田裕子

(平成21年3月現在)



幹事会議事録

平成20年度第4回定例幹事会

2008年度第4回定例幹事会（新旧合同幹事会）議事録

日時：2009年2月27日（金）18：00～19：30

場所：大阪市大医学部学舎 18階会議室

出席：植本 圓藤 大脇 岡田（章） 河合 木村
清田 久保田 車谷 佐野 鮫島 埜田 中西
夏目 西尾 日高 廣部 藤岡 藤吉 山田
欠席：荒木田 上田 岡田（邦） 鍵谷 河野 小泉
竹下 竹村 長澤 西山 広田 宮上 宮下
森岡

1. 平成20年度事業報告：圓藤地方会長より報告がありました（承3頁）。
2. 平成20年度決算報告：圓藤地方会長より報告がありました（承2頁）。
3. 新地方会役員体制等について
 - 1) 副会長の選任：地方会規約（第2条2）に基づき、車谷新地方会長が副会長に清田郁子代議員を選任。
 - 2) 担当理事の役割分担：大脇理事が「部会・研究会」を、岡田理事が「総務と財務」を、廣部理事が「学術・研修会」を、山田理事が「広報」を担当すること報告。
 - 3) 新幹事の推薦と役割分担：新理事と新地方会会長と新副会長とが、地方会規約第7条3に従い、代議員の中から幹事を推薦し、役割分担を決定したことが報告された。

- 4) 各役員の任期：地方会会長・副会長・監事、理事、幹事の任期と実質的な活動開始時期を確認。
- 5) 幹事メーリングリストの新設：承認
- 6) 幹事会・地方会総会の開催場所：大阪市大の会議室・会場が有料化されることが報告された。
- 7) 本部産業医部会幹事の推薦：岡田章会員・山田誠二会員・中西一郎会員を推薦した。
4. 平成21年度事業計画案：清田副会長から提案があり承認（承5頁）。
5. 平成21年度予算案：清田副会長から提案があり承認（承2頁）。
6. 第57回近畿地方会総会について：6月6日に大阪市大で開催。総会の特別講演・シンポジウムの企画は廣部理事が担当。
7. 第49回近畿産業衛生学会（平成21年）：西尾近畿産業衛生学会会長から準備状況について報告があった。
8. 第50回近畿産業衛生学会（平成22年）：滋賀県で木村隆幹事（近畿健康管理センター）を学会長として開催すること承認。
9. 地方会事務局の移転：奈良医大地域健康医学教室への移転作業中であることが清田副会長から報告された。
10. その他
 - 1) 産業医学実践講座：本年12月に実行委員会を開催し今後の方針を論議。委員の任期を当面延長することとした。
 - 2) 労働衛生法制度研究会の活動休止について：休会の申し出を了承した。

N Nakanoshima Clinic 中之島クリニック

京阪電車延伸でアクセスがより便利に!!

事業主・健康保険組合様の特定健診・健康管理・健康増進活動に当クリニックの人間ドックのご案内をさせていただきます。

1. エントリーコース 44,100円（税込）
2. ジェネラルコース 男性：47,250円（税込）
女性：48,300円（税込）
3. 宿泊コース 80,000円（税込）

宿泊ホテル：リーガロイヤル

特徴：全コースにトレッドミルによる負荷心電図を実施。

PET/CT、MRI、CTなど画像診断も受け賜っております。

〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1-2
電話：06-6451-6100 予約専用：0120-489-401
E-mail yoyaku@nakanoshima-clinic.jp
URL www.nakanoshima-clinic.jp

編集後記

平成21年は日本経済の不況下で内定取り消しや雇用解除、業務縮小という暗いニュースで開けましたが、そんな中3月24日、第2回WBCでは「侍JAPAN」が前回に続いて世界一、2連覇達成という明るいニュースで日本中が湧きました。この偉業による経済効果は計り知れないといわれ、新年度始め大いに期待が持てそうな気がしてきたのは私ばかりでしょうか？近畿地方会も車谷典男会長（奈良医大）をはじめ、地方会幹事役員も一新され新しいスタートをきりました。「近畿地方会ニュース78号」も下記メンバーで、学会員の機関誌として、ホットな話題や各部会の動きなどタイムリーに掲載していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。（大脇多美代 記）

編集委員（五十音順）

大脇多美代（編集責任） 河合 俊夫
木村 隆 久保田昌詞
中西 一郎（広報事務局） 藤岡 滋典
藤吉奈央子 宮下 和久
山田 誠二（編集総括責任）